

# 福井県議会議員

しみず とものぶ



# 清水智信 NEWS-02



## 誇れる郷土に情熱を

清水智信事務所: 〒910-0837 福井市高柳3丁目2801  
TEL.0776-52-2630 FAX.0776-52-2021 E-mail:tomonobu0628@movie.ocn.ne.jp

## 絆、活力、郷土愛

●福井で自由に自己表現ができて、みんなが主役になれる場所を提供したい。  
●もっと未来の福井を担う若者たちが、福井の現在に関心を持ち、自分たちのチカラで福井をより良くしていきたいという郷土愛の醸成に結びつけていきたい。  
●地方政治は身近な存在であり、投票を通じて福井を考えるきっかけにしてほしい。

### 一般質問

- 2015年9月16日 福井のにぎわいづくり(恐竜モニメント、賑わい広場の活用、プロジェクトマップ)、教育行政(地元のプロスポーツチーム、主権者教育、福井しあわせ元気国体について)
- 2015年12月3日 福井創生・人口減少対策戦略(「ターン」政策、マカ栽培、福井しあわせ元気国体・大会(国体ボランティア)、東京オリンピック合宿誘致(永平寺座禅禅メンタルトレーニング、フルマラソンについて)
- 2016年2月25日 地産地消(県立病院、お米教育、福井県産そば粉)、福井国体、福井のスポーツ振興の発展、教育(いじめ問題)、子どもの目と歯の健康プロジェクト(ビジョントレーニング)
- 2016年6月10日 U・ターン政策の推進、インバウンド・観光地の魅力アップのための越前和紙と漫画のコラボ、福井国体の機運醸成、東京オリンピック合宿誘致について
- 2016年9月20日 幸福度1位、U・ターン、マカ、教育行政、交通マナーについて

### 活動報告

- 2015年12月19日: 県都づくりシンポジウム「支え合いの国づくり地域づくり」に参加  
**智信コメント**  
街づくりやU・ターンについてお話しさせて頂きました。
- 2016年3月26日: 「スペシャルオリンピックス全国会議」出席  
**智信コメント**  
スペシャルオリンピックス…知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を年間を通じて提供している国際的なスポーツ組織
- 2016年3月17日: 美浜町・県園芸研究センター訪問  
**智信コメント**  
県園芸研究センターと「日本産マカ」共同の実証試験を視察しました。



スペシャルオリンピックス福井の理事長に就任させて頂き、全国会議に参加。スペシャルオリンピックス日本理事長の有森裕子氏と障害者スポーツやアスリートのセカンドキャリア等を意見交換しました。

●2015年10月4日: 「いじめ撲滅チャリティイベント」に参加(東京都昭島市)  
**智信コメント**  
子供たちにボクシングのミット打ち体験やスパリングを披露。市教育委員会と連携し、青少年育成や地域の賑わいづくりをしていて、福井でも是非このような活動をしたと思います。



●2015年10月9日: 日本プロサッカー協会(Jリーグ事務局)に就農提案  
**智信コメント**  
引退したプロサッカー選手の福井での就農を提案する清水県議(右)は9日、東京都文京区のJリーグ事務局を訪れ、引退したプロサッカー選手のセカンドキャリア(「第二の人生」の選択肢として、「福井での農業」を提案した。県の就農支援制度などを紹介し、幸福度日本一で暮らすやすい生活環境をアピールした。



●2016年3月17日: 美浜町・県園芸研究センター訪問  
**智信コメント**  
県園芸研究センターと「日本産マカ」共同の実証試験を視察しました。



●18歳選挙権について  
**智信コメント**  
18歳選挙権を見据え、若い世代が政治に興味を持つきっかけをつくりたいという思いで講演しました。



●2016年6月11日: 福井県看護連盟講演会  
**智信コメント**  
「政治」はなぜ、政治家を目指したか? 清水智信 講演会

### サッカー引退後は「福井で農業」PR 清水県議、「Jリーグ」に

ボクシング元世界王者の清水智信・福井県議が9日、東京都文京区のJリーグ事務局を訪れ、引退したプロサッカー選手のセカンドキャリア(「第二の人生」の選択肢として、「福井での農業」を提案した。県の就農支援制度などを紹介し、幸福度日本一で暮らすやすい生活環境をアピールした。



引退したプロサッカー選手の福井での就農を提案する清水県議(右)は9日、東京都文京区のJリーグ事務局を訪れ、引退したプロサッカー選手のセカンドキャリア(「第二の人生」の選択肢として、「福井での農業」を提案した。県の就農支援制度などを紹介し、幸福度日本一で暮らすやすい生活環境をアピールした。

が厳しいのでは、スポーツ選手を目指す子どもたちに心から「頑張れ」とは言えない」と述べ、引退選手の受け皿づくりの必要性を強調。徳井室長が、園芸の人材を育成する県の研修機関「ふくい園芸カレッジ」や、本県独自の支援制度などを説明した。

**智信コメント**  
引退したJリーガーのセカンドキャリアについて、福井県の園芸カレッジ、ターン政策等とサッカー選手のセカンドキャリアをマッチングする就農提案。人口減少対策、農業の担い手不足等の解消に向けてマッチングしたいという思いで訪問しました。

●2016年4月：東京農業大学栄養科学科を訪問



智信コメント  
福井のお米イメージアップ運動を協働依頼しました。

●2016年7月21日：福岡のハンドボールチーム「フレッサ福岡」視察



智信コメント

ハンドボールチーム「フレッサ福岡」の選手は、日中は農業をして夕方から競技の練習をするという新しいスタイルで地域活性化、農業の担い手不足の解消を行なっていました。選手が作った野菜をスーパーで手売りすると即売するとの事。チームも地域密着型でファンも増えるという好循環を生んでいます。福井でもこのようなスタイルを確立していきたいと思っています。

■福井駅西口屋根付き広場「ハピテラス」の有効活用について提言

ハピテラスが毎日、文化祭のように賑わい、若者の活動の発表の場としていくべきです。福井にも若者が自分を表現し、発信する場所が必要です。この仕組みが実現できれば、大きなお金をかけずに、福井の街中に賑わいを生み出せると思います。福井駅西口は県都の玄関口であり、県としても福井市と一致団結して、屋根付き広場を活用した賑わいづくりに関わっていくべきと考えます。

●2016年7月3日：「ハピテラスドリームフェスティバル」に参加（ハピテラス1階屋根付き広場「ハピテラス」）



智信コメント

戦友・内藤大助氏と8年越しのリベンジパージング(笑)。現役世界王者の井上尚弥選手も素晴らしいスパリングを披露してくれました。その他にも、高校生選手によるスパリング、福井県立大学の学生による音楽のパフォーマンス、県国体推進課による国体ダンスと明道中学校吹奏楽部とのコラボ、キッズによるチアダンスや極真空手による演武など、様々なパフォーマンスで盛り上がり、約1万人の観客がハピテラスの会場に会場してくださいました。本当に感謝の気持ちでいっぱいでした。ありがとうございました。



●2016年4月6日：福井県立大学を訪問  
智信コメント  
新たに就任された進士五十八学長（実は私の農大時代の学長でした）と面会し、学生の街づくりへの参画、これからの大学について意見交換しました。



智信コメント  
日本人の精神の素晴らしさや幸福度日本一の「福井」について講演しました。

2016年4月24日：講演(明治記念会館)



2015年12月26日：永平寺リトルリーグ講演会



2015年10月13日：武生商工会議所青年部10月例会講演会



智信コメント  
アスリートのセカンドキャリアについて、福井の園芸カレッジの取り組みを中心に提言しました。

2016年4月29日：「スポーツキャリアミーティング」に参加(東京体育館)



2016年1月10日：県政報告会・新春の集い



2016年7月27日：美山公民館講演会

**福井しあわせ元気国体 2018**  
**福井しあわせ元気大会 2018**  
第7回 国体体育大会・第10回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう カと美しさ

皆さま、いつもあたたかいご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後共、愛する故郷「福井」の為に、全身全霊で頑張っておりますので、今後も変わらぬご支援を頂けますよう、宜しくお願い申し上げます。尚、新着情報等は下記フェイスブックや本誌の活動報告等に掲載してまいります。ご意見やご要望は、下記までお気軽にご連絡下さい。

●FAX:0776-52-2021  
●E-mail: tomonobu0628@movie.ocn.ne.jp

**清水智信 Facebook**

■福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会ボランティアについて提言

福井国体においても、選手はもちろんボランティアも主役である大会であって欲しいと思います。チームロンドンのように、福井も国体レガシーとしてボランティア精神を根付かせ残していかなければならないと思います。福井国体大会の運営など、サポートするボランティアをどのように根付かせ、終了後も地域のスポーツイベントなどで活躍してもらえようようにしていくのが考えることが重要で

■東京オリンピックの合宿誘致として「永平寺」の提言

合宿誘致では、福井の特色を活かした戦略が必要です。福井にはミシュランにも選ばれた禅の里永平寺があります。禅の本場、神秘的な雰囲気、永平寺の座禅はメンタルトレーニングに最適であり、県外の合宿候補地と差別化を図れるのではないのでしょうか。海外の選手にとっても東洋の神秘、禅には必ず興味がありますし、永平寺を世界中にPRする絶好のチャンスです。永平寺における座禅体験をPRし、合宿誘致をすすめてはどうかと考えます。